

新型コロナウイルス感染症対策

<2021. 5. 18 利府第三小学校>

～ 新しい生活様式 ～

1. 3つの密（密閉・密接・密集）を回避すること
2. 換気をする
3. 人と人との距離を取ること
4. 石けんでしっかりと手を洗うこと
5. マスクを着用すること
6. 毎朝検温と健康観察をしてくること
7. 大声で話さないこと
8. 家族の方も健康観察を行うこと



【感染症対策編】

- ① 家庭での健康観察：家で毎朝、検温と健康観察を行う。記入は保護者が行い、健康観察カードは担任に提出する。本人や家族に発熱やかぜの症状（咳、鼻水、だるい、頭痛、腹痛、その他）などの症状がある場合は、登校を控えてください（出席停止扱い）。感染予防等で休む場合も、欠席扱いにはならず出席停止と同様の扱いとなります。
- ② 学校での健康観察：担任等が健康観察及び健康観察カードの確認をします。発熱やかぜ症状がある場合は、家庭連絡し早退します。
- ③ マスクの着用：学校では児童や教職員はマスクを着用します。予備のマスクを2～3枚持たせてください。使い捨てマスク、布マスク等種類や色に制限はありません。
- ④ 石けんでの手洗いを励行：登校時や外遊びの後、給食の前など石けんでの手洗いを励行します。給食時は手指消毒薬を使用します。肌の敏感なお子さんは石けんでの手洗いを重視し、消毒薬は使用しなくても構いません。
- ⑤ 換気：教室等は対角2カ所以上で常時換気をし、休み時間毎に全窓開放で換気を行います。室温低下も考えられるので上着を持参させてください。
- ⑥ 免疫力を高める：十分な睡眠や適度な運動、バランスのよい食事を心掛けましょう。
- ⑦ 校舎内の消毒の省略：日常の清掃を丁寧に行い、児童や教職員が石けんによる手洗いを徹底します。ただし、給食台は使用時に消毒用アルコールで消毒します。



【教育活動編】

- ① 各教科：原則として全員前を向いて授業を受けます。当面、長時間にわたる向かい合っのグループ活動やペア討論、大きな声での音読や歌唱、調理は行いません。体育等は学年学級単位で行い、密集せずに距離をとって行います。
- ② 休み時間：業間や昼休みに、割り当ての学年は校庭で元気に遊びます。短縄跳びやかかけっこを奨励し、外から帰ったら石けんで手を洗います。また、図書室も学年毎に割り当てとし、利用後は石けんで手を洗います。
- ③ 給食：給食当番は必ずマスクを着用し、石けんでの手洗い、手指消毒薬を使用します。当番が距離を取って配膳します。給食中は、全員前を向いて食べ「いただきます」をしてからマスクを取り、食事中はしゃべりません。マスクを付けてから「ごちそうさま」をします。歯磨きは、無言で実施します。感染状況によっては中止することもあります。朝夕は家庭でしっかりと歯磨きを行い、むし歯予防に努めてください。
- ④ 掃除：昼掃除とし、「無言清掃」を行います。換気を十分に行い、トイレ掃除はビニール手袋を付けて行います。掃除後は必ず石けんで手を洗います。
- ⑤ 熱中症予防：登下校中や、体育の準備、移動中はマスク着用とします。汗をかくような場合や息苦しい場合は2m程度の距離を取りマスクをはずしてもかまいません。



【心のケア編】

- ① いろいろな制約が、子供たちのストレスの要因になることもあります。子供たちが納得できるよう、子供の話を受け止め、一緒に考え、説明を丁寧に行います。ご家庭でもお願いいたします。
- ② 学級担任や養護教諭だけでなく、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携をとり、子供たちの心の健康に寄り添います。
- ③ 感染者、濃厚接触者等に対する偏見や差別について
新型コロナウイルス感染症は、感染経路が不明であるケースも多数見受けられます。誰も感染の可能性があります。特定の職業や地域、子供をさして偏見や差別につながるような言動は、断じて許されません。

【罹患，濃厚接触者認定の場合編】

- ① 高熱や強いだるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）が一つでもあるとき、比較的軽いかぜ症状（発熱や咳など）が続く場合（4日以上の場合）は、かかりつけの医師や宮城県相談窓口（022-398-9211）に相談してください。
- ② 罹患した場合や濃厚接触者認定を受けた場合、検査対象者になった場合などは、できるだけ早めに学校にお知らせくださいますようお願いいたします。